



# 大 幼



令和6年度

園長だより No.8

令和7年1月30日

## とっぴり浸かって遊ぶ、附幼っ子

3学期は、比較的穏やかな日が多くて、子どもたちは薄着で元気いっぱい遊んでいます。この日は山のような落ち葉を風呂に見立てて遊んでいたのですが、私も湯たつと浸かったところ、上から枯葉のシャワーが降ってきました。また、年中さんは三輪車を操るのもお手の物です。前傾姿勢で足を器用に動かして何周も行ったり来たりして楽しんでいました。

保育室内では、コマを回したり、工作遊びやごっこ遊びをしたり、思い思いの好きな遊びにとっぴり浸かって過ごしています。



## 幼小の橋を架ける

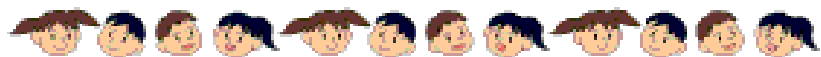
年長の幼小交流会がありました。交流会は子どもたちが主体となって企画されていました。お互い年齢差を感じながら、頼ったり支えたりすることで、友だちとはちがう学びが生まれる良さがあります。今年は、例年以上に1年生が前面に出て、ランドセル体験や子ども授業など工夫あふれる活動を仕組んでくれました。

また、今月は、幼は小の小は幼の学ばせ方をじっくりと観察しました。幼小の接続がスムーズにいくことや幼稚園での遊びを通した学びを小学校の先生にも理解してもらうこと。また、小学校と幼稚園が共通の期待する子ども像を決めてカリキュラムを創造すること等双方向から幼と小の架け橋を構築しています。

2月4日には、附属小学校で幼小合同研修会を持ちます。連携の強化を目指しているところです。



## 落ち葉かきの跡



附属幼稚園の園庭は植物図鑑の実写版です。四季折々を彩る植物が上手に植樹されています。今年は、暑くて長い夏のためなかなか落葉しませんでした。年末から一気に落葉のピークを迎えたため、園内は勿論ですがフェンス向こうにかなりの落ち葉がはみ出してしまいました。その様子を心配してくれた保護者の方が、自主的に清掃してくれたことや環境安全部の方を中心に大勢の方が園内を整美してくれたことに深い感謝の意を伝えたいと思います。皆様のお力添えのおかげで、子どもたちに限らず我々も安心して保育を営むことができます。

楠や樺を始め園庭の木々は、随分とこの幼稚園を見守ってくれます。時には暑い日差しを時には強い風をさえぎってくれますし、生き物たちの憩いの場でもあります。これからもこの環境維持のためご協力をよろしくお願いたします。

